

ソーシャルワーク専門職のセルフケア： ウェルビーイング社会の実現に向けた対人援助職の役割

日時： 2025年3月9日（日） 13:00～16:30

場所： 明治学院大学（白金キャンパス）本館4階1405教室（教室変更の可能性あり）
& Zoom配信 *変更がある場合はPeatixあるいは会場掲示でお知らせします*

【基調講演】「ソーシャルワーク専門職のウェルビーイング」

前野隆司

（武蔵野大学 ウェルビーイング学部 学部長・教授

慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授）

【シンポジウム】

①「ソーシャルワーカーのセルフケア試論:グローバル定義・倫理綱領との関連」

三島亜紀子（立命館大学 生存学研究所 客員協力研究員）

②「組織におけるスタッフのセルフケア戦略」

菊地月香（全国社会福祉法人経営者協議会 社会福祉法人連携推進委員会委員・
栃木県経営協会長/社会福祉法人同愛会 理事長）

③「スーパービジョンに見られるセルフケアニーズ」

田中千枝子（日本福祉大学福祉社会開発研空所研究フェロー）

コーディネーター 大谷京子（日本福祉大学）

ソーシャルワーカー自身のセルフケアに関しては、その利他的性質もあって多くは語られてきませんでした。しかしIFSWは倫理原則声明においても、セルフケアを専門的誠実さの一部として提示されています。日本ソーシャルワーカー連盟(JFSW)も、2020年の倫理綱領改定で「自己管理」を専門職の倫理的責任として加えました。ただし、個人責任の強調や組織や社会による環境整備の軽視につながる懸念、社会福祉専門職のWell-beingと実践の質の向上との両立におけるジレンマもあります。こうした理論的、倫理的、実践的な課題について幅広く議論する場にしたいと考えています。

企画 日本ソーシャルワーク学会

申し込み先

右のQRコードあるいは以下のURLより、

参加者ごとにお申し込みください（〆切2025年3月2日）

<https://jsssw2024-2025seminar.peatix.com/view>

